

# のぞみ福井ニュースレター

2019 夏号/第69号

令和という新しい時代にはいっても普段と変わらぬ活動を続けております。今年の梅雨は長い。入梅は、早かったのにいまだに明けておりません。去年の猛暑に比べて、まだ、暑—い夏はやってきておりませんが、風疹、夏風邪、手足口病などが大はやり。体調に気を付けて、皆様夏を乗り切りましょう。

## ★のぞみ小児がん公開セミナー



今年のセミナーはクリニックラウンの活動を中心に病気の子どもたちが病院でどのように過ごしているかを皆さんに知ってもらおうと思い企画いたしました。6月2日(日)福井駅前のハピリン内にある福井市総合ボランティアセンターにて行いました。参加者は総勢40名。小児がんの子どもたちが描いた絵画パネル展と、ゴールドリボンツリーと、仁愛短大折り紙クラブの学生が毎月製作してくれている、壁面装飾の掲示も行いました。

本部ソーシャルワーカー一檜垣さんにより、小児がんとは？がんの子どもを守る会とは？の説明。続いて福井支部の活動について、辻子副代表幹事より説明してもらいました。

大阪のクリニックラウン協会より、石井さん(クラウンとんちゃん)と熊谷さん(クラウンくまちゃん)にお越しいただき、クラウンの活動について、入院中の子どもとのコミュニケーションについて時折パフォーマンスをはさみながら、講演をしていただきました。福井大学医学部附属病院へは2か月に1回訪問していただいています。病気であっても子どもは子ども。子どもの笑顔の輝きは素晴らしい。

分科会では、そのままクラウンさんのワークショップに、ボランティアしているスタッフと大学生と看護大学生がたくさん参加して盛り上がりました。もう一つは子どもを亡くしたご家族の交流会でした。

亡くしたばかりのお母さんが富山から来てくださいました。同じ経験をした者同士と、ソーシャルワーカーを加えて、穏やかにお話をお聞きしました。今後は富山支部の交流会へとお誘いしました。

生きられる子どもがいる中で、亡くなる子どもいることを忘れないでと、あらためて今後の活動の確認をしました。



## ★福井市総合ボランティアセンター ものづくりセミナー



福井市ボランティアセンターの職員さんから、小児がん患者さんのために、ものづくりで支援する方法はないかとお声がけいただき、きょうだいと遊ぶあそぼうタイムと、入院中の子どものための読み聞かせのお話タイムでの活動で使う、おもちゃを作っていただくことになりました。

そのボランティアさんに、小児がんと入院中の子どもたちへの支援を説明するために代表幹事がミニ講義を行いました。

皆さん編み物が初心者の方もいらっしゃいますが、一生懸命作っていただきました。

まだまだ家で制作し、持ってきてくださいます。クリスマスプレゼントやきょうだいの活動に使わせていただきます。

### ★これからの予定

- |       |                     |                   |
|-------|---------------------|-------------------|
| 7/31  | お話タイムの夏祭り           | 福井大学医学部附属病院小児科病棟  |
| 8/18  | ピアサポートカフェ嶺南         | 小浜市 サン・サンホーム      |
| 9/8   | のぞみ北陸小児がん交流会        | 石川県金沢市 石川県社会福祉会館  |
| 10/5  | 中部小児がんトータルケア研究会     | 名古屋市 名古屋大学医学部附属病院 |
| 10/27 | 福井県小児慢性特定疾病のご家族の交流会 | 場所未定              |

小慢相談所のホームページ(<http://shouman-fukui.jp/>)をご覧ください。

**発行: (公益財団法人) がんの子どもを守る会福井支部**

TEL・FAX 0776-22-5132

Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp

本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>

支部 URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

支部 facebook ページ

<https://www.facebook.com/gannokodomofukui>